

## 島のしくみ～島の活性化～



与論島に初めて行って見て、与論島のあたたかさに感動した。気温はもちろんのこと、島の人全員がとても優しく温かい、どこか懐かしさを感じるような場所だと感じた。自分の親戚かのようにお店の人も道端であった人も話してくれる。とても素敵な町だと思った。どこを見てもきれいな海がひろがり、緑豊かなところだった。そこで、与論島の活性化に必要なことは以下のようなことだと考える。

### ① 情報発信

与論町では、島の気候にあった農作物が育てられている。例えば、日本一出荷の早いサトイモやニガウリ、サヤインゲン、また、南の島でしか見られないようなアテモヤ、ドラゴンフルーツといった珍しい果物などが栽培されている。こういった農作物はさらなるブランド化をめざし、与論だけのものをつくっていくことが大事だとおもった。そしてそれをもっと全国にアピールしていくためにホームページで紹介したり、個人にも栄養価の高い野菜としてネット販売ができるようにしたりして、情報を発信していくことが大事だと思った。

また、美しい海と砂浜を生かして、ゲストハウス的に行うウェディングスポットとしてピッタリな場所だと思った。だから、ゼクシーや他の雑誌等に投稿したり、YouTubeなどの動画サイトに観光の内容や与論島の海の景色をupしたりしてアピールする。

また、情報発信をするときに目を引くような真珠の島といったキャッチコピーを考えるとアピールしやすいと思った。

### ② 新しいサービス

与論島には、与論島に一度行くと、もう一度行きたくなるような温かい人々と、ゆったりとした雰囲気、温暖な気候、美しい自然がある。だから、リピーターを増やすために、観光が2回目以上だという人には宿泊地や飲食店で割引をするというようリピーターを優遇するサービスを行う。また、島の作物を使った新しいお土産食品を開発する。ハイビスカスを使ったクッキーやティー、焼酎を使ったパウンドケーキやチョコレート、モズク饅頭、島の野菜サブレ、など名産お菓子を作る。

また、周りの島も巻き込んだ、島写真コンテストの様なものを開催する。島の海や自然や人々の生活風景など美しい風景を堪能しながら、その写真を募集し、順位をつけていき、優秀者には名産品や商金をプレゼントし、その写真は島の広告に使わせてもらう。そうすることで、旅行者に楽しんでもらいながら、島のアピールもしていくことができるはずだ

と思う。

また、関東などの都会に住む人たちに向けて格安のツアーを提供する。健康を気にし始めた年代をターゲットにヘルススポットとしてきれいな空気の島で一休みしよう！をコンセプトにすることで、都会の生活に疲れてしまった人に南国気分を味わってもらい、ひと時のゆったりとした休みを感じ、疲れを忘れることができると思う。

与論島はとても小さな島だ。だからこそ島民全員が協力して島を活性化していくのに努めなければならない。今回与論島に研修に行ってみて、観光、農業、水産、畜産業など島全体がいろいろな工夫をしていることが分かった。堆肥センターを設けて農業を盛んにしようとしたり、島のサンゴ礁を復活させるために研究をしていたり、島全体を人生ゲームに見立てて観光業を発展させたり、3つの島での旅行プランを計画していたり、とても画期的な活動をたくさんしていて、島の活力を目の当たりにした。だから、私も友達や家族などたくさんの人にお土産話をして、与論島の活性化に役立てばと思った。そして、与論島の情報発信をもっともっと活発にしていけることが大切だと感じた。島全体が一丸となって活性化に積極的に協力することが重要だ。

